刈谷市立日高小学校　学 校 評 価 ア ン ケ ー ト
令和6年度　結 果 と 考 察

※　下記の「%」は、A（そう思う・よくあてはまる）と B（まあそう思う・ややあてはまる）を合計した割合です。【 肯定的な回答の割合 】

※　AAA／95%以上　・　AA／90%～94%　・　A／80%～89%　・　B／70%～79%　・　C／60%～69%　・　D／50%～59%　・　E／50%未満

	教員アンケート	満足度		No.	児　童　アンケート	満足度		No.	保護者アンケート	満足度		比較結果と考察
1	子どもたちの笑顔あふれる学級づくり・学校づくりに努めている	100%	AAA	1	学校での生活は楽しい	94%	AA	1	お子さんは、楽しく学校に通っている	95%	AAA	三者ともに高い評価となっている。1%の児童が学校生活に対して否定的な回答（「思わない」）をしており、大きな課題である。一人一人の児童にさらに目を配り、全児童が楽しいと感じ、安心して生活できる学校づくりに一層努めていきたい。また、児童一人一人が自分の将来に向けての目標を具体的に設定し、目標を達成する活動を大切にしたい。
2	規則正しい生活や食に関する指導を行い、子どもの健康増進のために努めている	97%	AAA	2	規則正しい生活やバランスのとれた食生活をするなど、自分の健康に気をつけて生活している	86%	A	2	お子さんは、規則正しい生活やバランスのとれた食事をするなど、自分の健康に気をつけた生活をしている	83%	A	今年度新たに児童の健康に関する設問を行った。教員の評価が高いにも関わらず、児童と保護者の評価がやや低い。家庭科や体育（保健）の授業、保健指導、給食指導等を通して、児童への具体的な健康指導を行っていきたい。また、保健だよりや食まるだよりなどを活用して、保護者への啓蒙を図っていきたい。
3	子どもの体力向上のために、体育の授業や長放課に外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高める機会の確保に努めている	88%	A	3	体育の授業や長放課に外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしている	80%	A	3	お子さんは、体育の授業や長放課に外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしている	82%	A	今年度新たに児童の体力向上に関する設問を行った。全体的に、他の項目と比較して評価が低い。体力向上プロジェクトを中心に、体育の授業を充実させるとともに、長放課の外遊びを教師も一緒になって子どもたちと行えるよう心がけていきたい。また児童会活動を中心に、体力を高める企画を子どもたちと考えていきたい。
4	子どもたちが、自分のよさを自覚できるような指導を心がけている	97%	AAA	4	自分には、よいところがあると思う	91%	AA	4	お子さんは、自分のよいところを自覚していると思う	85%	A	昨年度より、児童が16%の上昇、保護者が10%の上昇が見られる。本校の研究主題であるキャリア教育が3年目を迎え、成果が表れてきた結果だと思われる。今後もさらに、多面的に児童の自己肯定感を向上させていく取組を行っていきたい。
5	互いを思いやれる温かい学級や、子どもたちの居場所のある学級、「ありがとう」があふれる学級づくりに努めている	97%	AAA	5	優しくてくれたり、仲良く遊んでくれたりする友だちに「ありがとう」を伝えている	93%	AA	5	お子さんは、周りの人に「ありがとう」を伝え、友達のことを考えて行動したり、友達と仲良く過ごしたりすることができている	94%	AA	三者ともに90%以上の評価をしており、高い評価となっている。今後も学校生活のあらゆる場面において「ありがとう」があふれ、子どもたちの居場所のある学校・学級づくりに努めたい。
6	教材研究に努め、分かりやすい授業づくりに努めている	100%	AAA	6	学校の授業は分かりやすい	94%	AA	6	先生は、子どもが分かりやすい授業となるよう努めている	97%	AAA	三者ともに90%以上の評価をしており、高い評価となっている。クラス全員の児童が意欲的に参加できる「分かる授業」「楽しい授業」を目指し、今後も積極的に教材研究に努めたり、校内研修を行ったりするなど、授業力向上に取り組んでいきたい。
7	話し合いや関わり合いを通して、考えを広めたり深めたりする学び合いのある授業を心掛けている	97%	AAA	7	友達の発言をよくきいたり、自分の考えを発言したりしている	84%	A	7	お子さんは、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、授業に取り組んでいる	87%	A	教師の評価が4年連続改善した。教師が授業形態等を工夫し、話し合いや関わり合い活動を行い、主体的・対話的な学習を意識していることが分かる。また、児童・保護者どちらの肯定的な評価も2%上昇している。今後も児童が自信をもって話し合い活動ができるよう、学級経営や授業づくりに取り組んでいきたい。
8	家庭学習として取り組める宿題や自主勉強などの勉強を与えている	87%	A	8	家で宿題や自主勉強をしている（じゅくでの勉強もふくみます）	89%	A	8	お子さんは、家で宿題などの学習に忘れずに取り組んでいる	93%	AA	三者とも評価が上昇している。学力の定着や家庭での学習の習慣化のため、教師は意図的に宿題や自主勉強などの機会を提供しており、児童も概ね家庭での取組ができるようになってきている。今後も、学校と家庭が連携し、児童の過大な負担とならぬよう配慮しつつ「できるようになった」「自分で勉強するって楽しいな」と児童が実感できるように取り組ませ方を工夫したい。
9	子どもや保護者からの相談事には誠意をもって対応している	97%	AAA	9	困ったときに、相談にのってくれる先生はいる	90%	A	9	日高小の先生は、保護者の相談事に誠意をもって対応している	97%	AAA	児童の評価が6%上昇し、三者とも評価が90%以上になった。教師、保護者の評価と児童の評価の間に差は見られるものの、その差も縮まった。教育相談ウイークの充実を図ったり、日頃から児童の心に寄り添ったりした指導の成果であると考える。児童の信頼をさらに得られるよう、努めていきたい。
10	子どもたちのためにという気持ちで、教師として仕事をしている	97%	AAA	10	先生たちは、自分たちのために勉強や部活動（入っている人だけ）を一生懸命教えてくれていますか	96%	AAA	10	日高小の先生は、子どもたちのために勉強や部活動を一生懸命指導している。	99%	AAA	三者ともに高い評価となっている。いろいろな機会を通じて、学校での学習活動や部活動の様子が伝わるよう情報発信を心がけている。その取組の成果が現れ、保護者や児童からも教師が教育活動に取り組む姿勢に対して、高い評価が得られているのだと考えられる。今後も引き続き信頼を得られるよう、子どもたちのためにという意識をもって教育活動に取り組んでいきたい。
11	子どもたちに自信を付けさせるために、よいところをほめ、認める支援に努めている	97%	AAA	11	先生たちは、自分たちのよいところをほめてくれる	94%	AA	11	日高小の先生は、子どもたちのよいところをほめ、認めてくれている。	98%	AAA	児童は5%、保護者は3%の上昇となり、三者ともに高い評価となっている。また項目4の評価も上昇しており、つながりが見える。今後もQU検査の結果の分析・活用をより丁寧に行い、児童の実態を把握し、児童の自己肯定感の向上につながるよう、個に応じたほめ方、ほめる場面の工夫等をしていきたい。
12	保護者に必要な情報はきちんと提供しており、安心・安全な学校づくりに努めている	97%	AAA					12	保護者に必要な情報が学校から提供されており、安心してお子さんを通わせることができる	97%	AAA	学校だより（月2回発行）、学年だより（月1回発行）、学校ホームページ（毎日更新）、きずなネット等を活用して、保護者へ学校の教育活動の様子が伝わよう情報発信を行った。その成果が現れ、保護者の評価は高い。今後は、これまで以上に開かれた学校づくりに尽力し、保護者や地域の理解と協力を得ながら学校運営を進めていきたい。
					調査人数　567名				調査人数　562名			